

平成17年度事務事業評価表

担当	総務部	安全安心課	内線等	1904
事業コード		事務事業名	交通安全施設設置事業	
根拠法令等	蒲郡市交通安全条例	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	交通安全

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民のために
手 段	交通危険箇所等に交通安全施設を設置することによって
想定する成果	安全なまちづくりを図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
道路照明灯	新設・建替 8基	新設・建替・移設 10基	新設 6基
道路反射鏡	新設 17基	新設 13基	新設 14基
道路区画線	2,355m	882m	2,450m

④成果指標

成果指標名	① 要望達成率	②
成果指標の説明	設置数／設置要望数×100	

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	85.0%
	実績	89.4%	81.3%	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	8,060	7,217	7,382
	人件費	3,214	3,218	3,182
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	11,274	10,435	10,564
財源内訳	国			
	県	2,098	1,265	1,284
	市債			
	その他			
	一般財源	9,176	9,170	9,280

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	毎年地元要望等で設置することにより安全安心に対する意識が向上する。
経済効率性	2	2	安全施設整備には経済効果の高いものと低いものがある。
事務効率性	2	2	設置要望箇所の調査や協議および許可が必要である。
必要性	3	3	安全対策として毎年、多数の要望がある。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	3	2	安全施設の活用により市民生活の安全性が向上する。
合計	12 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	地元要望等で設置しているので、住民の事故防止および安全意識の向上になっている。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
設置箇所に電柱があれば電柱共架している。 縮減額 平均236千円×17年度電柱共架4基	944千円

⑧今後改善すべき点

予算の有効活用として、多数の要望の中から効果の高いところを選択する。

⑨平成19年度予算に反映する項目

予算要求を道路反射鏡や道路照明灯とも自立設置で要望しているが、電柱共架設置数を増やして費用の軽減を図る。
--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	総務部	安全安心課	内線等	1904
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	交通指導員設置事業		
根拠法令等	交通指導員の委嘱および服務に関する規程	A法令	B条例	C規則	Dその他
				Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	交通安全

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民のために
手 段	交通指導員を配備し保育園児・小学生の交通安全指導を行うことにより
想定する成果	保育園児・小学生に対する交通安全の普及を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
指導員数	8人	8人	8人
一人当たりの報酬年額	1,392,000円	1,392,000円	1,392,000円
一人当たりの平均勤務日数	213.9日	207.4日	—

④成果指標

	①	②
成果指標名	一人当たりの平均勤務日数	
成果指標の説明	一人当たりの平均勤務日数	

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	240.0日
	実績	213.9日	207.4日	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	13,032	13,248	13,249
	人件費	2,411	2,413	2,387
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	15,443	15,661	15,636
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	15,443	15,661	15,636

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	登下校時および学校での交通安全教室で、園児・小学生に交通安全指導ができた。
経済効率性	2	2	平成16年度から愛知県からの補助金の制度が変更になり、交通指導員設置事業が除かれた。
事務効率性	2	2	報償費等の労務管理に精通する必要がある。
必要性	3	2	園児・小学生の交通事故防止には、通学路上の交通安全教育の指導が必要である。
小計	10 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	交通安全地区推進協議会などで市民の意見をきいている。
合計	12 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	校区内の幅広い市民に交通安全の普及をしており、校区内の行事にも参加要望があるので、活動内容を充実したものにしている。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
16年度より1名減となったため、担当区域の見直しを行った。	交通指導員報酬年額 1,392,000円

⑧今後改善すべき点

交通安全知識を得る研修に多くの交通指導員を参加させる。

⑨平成19年度予算に反映する項目

塩津地区より指導員の増員の要望があり、1名増員して担当地区の見直しをする。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	総務部	安全安心課	内線等	1904
事業コード		事務事業名	防犯灯設置事業	
根拠法令等	防犯灯設置に関する取扱基準	A法令	B条例	C規則 <u>Dその他</u> Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	防犯

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民のために
手 段	夜間における犯罪を未然に防止するため電柱等に防犯灯を取り付けることによって
想定する成果	夜間犯罪の発生防止を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
新設	96灯	70灯	70灯
取替	3灯	—	—
年度末現在総数	5,218灯	5,303灯	—

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	要望達成率	防犯灯増加率
成果指標の説明	設置数／設置要望数×100	防犯灯増加灯数／前年度末設置数×100

⑤事業の進捗状況（ モーターボート競走特別会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	90.0%
	実績	100.0%	79.5%	—
成果指標 ②	計画	—	—	1.5%
	実績	2.1%	1.6%	—
事業費	事業費	3,641	2,573	2,573
	人件費	804	1,609	1,591
	(人数)	0.1	0.2	0.2
	合計	4,445	4,182	4,164
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,445	4,182	4,164

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	3	地元要望で設置しており、夜間における安全で安心な生活環境の向上をさせる。
経済効率性	2	2	設置数の増加と電気料の値上がりにより、電気料補助金の増加が問題となる。
事務効率性	2	2	設置要望箇所の調査やNTT等に対する許可申請が必要である。
必要性	2	2	夜間における犯罪防止のため効果のあるところに設置する。
小計	8 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	3	2	地元総代要望により設置場所を選定している。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	夜間の犯罪の増加が心配されており、地元の要望にこたえる安全で安心な生活環境にすることが必要である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
旧型20wから30wのものへの取替えを完了した。 設置数削減（100灯から70灯）により、設置箇所を厳選。 縮減額 36,750円×(100-70)灯=1,102,500円	1,102,500円

⑧今後改善すべき点

現在設置している防犯灯の機種が生産減により、より防犯効果の高い機種への変更が必要である。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

より防犯効果の高い機種は価格が高くなるため、設置灯数を維持すれば予算増となる。

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	総務部	安全安心課	内線等	1901
事業コード		事務事業名	地域防災計画、各種マニュアル等整備事業	
根拠法令等	災害対策基本法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	防災

②事務事業の内容

対象(受益者)	市民に対して
手 段	地域防災計画の見直し・修正や各種マニュアルを整備することによって
想定する成果	防災意識の高揚を図るとともに、発災時に、より迅速で円滑な対応ができるようにす

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
防災会議回数	1回	1回	1回
修正頁数	本編561頁のうち121頁	本編508頁のうち157頁	本編540頁のうち100頁
整備済計画・マニュアル数	3	6	6

(地域防災、水防、津波避難、初動対応、避難所運営、ボランティア支援本部運営)

④成果指標

成果指標名	①	②
地域防災計画、水防計画の修正割合		—
成果指標の説明	(修正ページ数/総ページ数) × 100	—

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	18.5%
	実績	21.6%	30.9%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費	0	0	164
	人件費	5,625	6,435	4,774
	(人数)	0.7	0.8	0.6
	合計	5,625	6,435	4,938
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,625	6,435	4,938

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	各課初動対応マニュアル、避難所運営マニュアル、災害ボランティア支援本部運営マニュアルを整備した。
経済効率性	2	3	新規マニュアルについては、印刷を含め、すべて自前で作成した。
事務効率性	2	2	地域防災計画、資料編、各課初動対応マニュアルなど共有サーバを利用し、各課で修正することとした。
必要性	3	2	
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	1	1	防災会議において、総代地区会長の意見は反映しているが、一般市民の参加はほとんどない。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	各種計画、マニュアルの整備は進んできたが、内容について、まだまだ不十分な点がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成15年度、東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されたことに伴い、地域防災計画を大幅に修正した。 平成16年度、東南海・南海地震に係る地震防災対策推進地域に指定されたことに伴い、津波避難計画の作成等を行った。 平成17年度、地域防災計画を補完するため、初動対応マニュアル、避難所運営マニュアル、災害ボランティア支援本部運営マニュアルを整備した。	

⑧今後改善すべき点

毎年、各課に修正依頼をしているが、各課で十分検討がなされていないと思われるため、今後とも職員の意識向上を図る必要がある。 新たに作成した計画、マニュアルについても、常に見直しを行いより充実したものにする必要がある。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

地域防災計画の印刷について、浄書センターに委託職員がいた頃は自前で印刷、帳合できたが、安全安心課職員だけでは時間と手間がかかり過ぎるため、17年度は予算を流用して印刷した。 19年度は、印刷製本費を計上したい。
--

⑩今後の方向性

拡大、充実、見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	総務部	安全安心課	内線等	1901
事業コード		事務事業名	蒲郡市国民保護計画作成準備事業	
根拠法令等	国民保護法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	防災

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民に対して
手 段	武力攻撃事態等に備えて「避難」「救援」等を定めた計画を策定することによって
想定する成果	市民の生命、身体及び財産を無力攻撃事態等から保護する。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
条例整備		18年3月議会にて制定	
計画整備			18年度中に計画整備
附属資料整備			

④成果指標

成果指標名	①	②
事業の進捗状況		—
成果指標の説明	(整備済項目数/目標項目数) × 100	—

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	66.7%
	実績	—	33.3%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	—	—	—
事業費	事業費	—		826
	人件費	—	1,609	6,365
	(人数)	—	0.2	0.8
	合計	—	1,609	7,191
財源内訳	国	—		
	県	—		
	市債	—		
	その他	—		
	一般財源	—	1,609	7,191

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	17年度の目標である蒲郡市国民保護協議会条例及び蒲郡市国民保護対策本部等条例の制定は達成できた。
経済効率性	2	2	計画作成にあたっては、コンサルタント等に委託せずに自前で作成することとした。
事務効率性	2	2	専任の職員を増加することなく実施した。
必要性	3	3	北朝鮮の情勢も緊迫しており、国民保護計画の作成は必要不可欠である。
小計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	1	1	県が作成した国民保護に関するリーフレットを市役所玄関受付に置いてPRしているが、市民参加度は低い。
合計	11 /15 満点中	11 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	国民保護に関して、市民への周知は十分ではないが、計画作成までの進捗については、目標どおり達成できた。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成17年度から実施した事業である。	

⑧今後改善すべき点

18年度において、蒲郡市国民保護協議会委員の選任、要綱等の作成、協議会の開催及び蒲郡市国民保護計画の作成を行っていく。 また、作成した国民保護計画については、ホームページに掲載するなどして市民に周知し、関心を高める必要がある。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

18年度に計画を作成するので、19年度以降、計画を実施するために必要な予算を計上する必要があるが、現時点では計画ができていないため具体的な項目は未定である。
--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】